

ふりはたちくいじかんりかつどうそしき

降旗地区維持管理活動組織（松本市）

• 組織の活動面積 A= 42 ha

• 組織の構成員数 約 108 人

組織形態

農地維持 ■

資源向上(共同) □

資源向上
(長寿命化) □

取組開始年度

平成27年～

—

—

構成員

農家

組織の概要

降旗地区は、松本市西部の梓川左岸に位置し、河岸段丘に挟まれた平坦な水田地帯です。

昭和42年に、この地域では初めて、第1次農業構造改善事業による約50haの圃場整備が行われ、既に50年が経過しています。

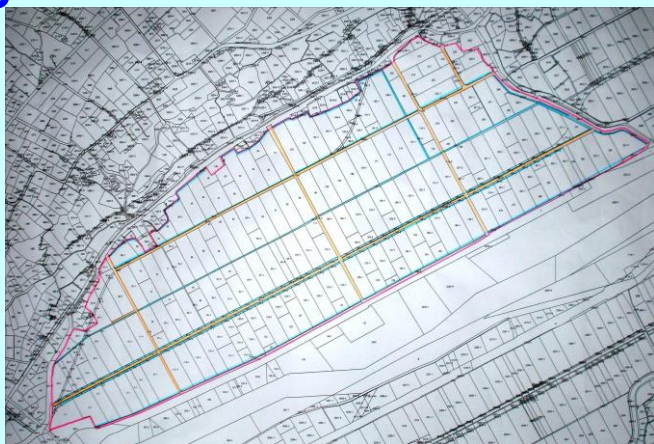
昔は、耕作道路もほとんどなく、10a以下の水田が密集する大変不便な農地でしたが、先人たちの先見により、道路敷6mの道と水路が縦横に配置され、ほとんどの農地は1区画30a(100m×30m)の水田に区画されています。きちんと圃場が整備されているため、利用集積も円滑に行われ、荒廃農地等の発生については、現状ではあまり心配はありません。

道水路の維持管理については、ずっと以前から、受益者全員で降旗地区維持管理組合を組織し、面積等に応じて賦課金を拠出し、積立ても行いながら、春には全員で道水路の整備を行うなど、維持管理に努めてきました。

今回、多面的機能支払い交付金制度が創設されたことから、土砂で浅くなった水路の対応など、従来からの課題を解決する方策として、平成27年度より本交付金事業を取り入れることとしました。

現在は、人材も乏しいことから、農地維持支払いのみの取り組みとなっていますが、まだ残る地域の課題を解決するため、農村振興リーダーなどの人材育成にも取り組みながら、本事業を最大限に活用できればと考えています。

田んぼが繋ぐ地域の輪(和)



【事業取組み区域図】



〈水路一斉清掃作業〉
(4月)



〈役員による水路漏水補修〉(4月)



〈環境美化活動〉(5月)



〈草刈り作業〉(7月)



〈圃場点検作業〉(11月)